

江東区 青少年委員だより

No.70号

江東区青少年委員会
広報部江東区地域振興部青少年課
地域連携係江東区東陽4-11-28
TEL.3647-9629
FAX.3647-8474

東京2020 オリンピック・パラリンピックにつながる一日

中学生体験プログラム



平成29年11月5日(日) 中学生体験プログラムが行われました。区内の中学生22名が参加し、午前中は北砂小学校体育館でパラリンピック競技であるチェアカーリングの選手・大野美紀さんによる講演と、車いすに乗ってのカローリングを体験しました。

午後からは川村義肢株式会社で車いす体験と義肢装具の装着体験をしました。その後、支援機器(車いす、義肢装具、介助犬など)の重要性と人工ボディについてのお話をうかがいました。

障がい者の立場に立つて考えることの大切さを学び、2020年パラリンピックに向けて私たちができることは何かを考えさせられた一日となりました。

目的

オリンピックの陰に隠れがちなパラリンピックに注目し、障がいがありながら活躍されている選手の講演や普段体験できないパラスポーツを実践して、江東区で開催されるパラリンピック8競技を盛り上げましょう。

また、様々な障がいがありながら日常生活されている方たちの立場に立つて、義肢やバリアフリーの大切さを学びましょう。



プログラム内容

- | | |
|-------------|---|
| 9:00 | 受付(北砂小学校) |
| 9:35~ 9:50 | パラスポーツ競技者による講演会
大野美紀さん(チェアカーリング歴8年) |
| 9:50~12:05 | パラスポーツ体験 カローリング(フロアカーリング) |
| 12:10~12:50 | 昼食 |
| 13:05~13:40 | 川村義肢(株)による支援機器の重要性の説明 |
| 13:50~16:30 | 疑似体験をして支援機器の役割を学ぶ
①義肢装具着用:平行棒をつたっての歩行、階段の昇降
②車いす操作:エレベーターの中での方向転換、スロープ、道路 |
| 16:40~16:50 | 人工ボディについての説明 |
| 16:50~17:00 | アンケート記入・終了 |

感想

- ◎ 障がい者と苦労についてよく分かった。
- ◎ 足1つが不自由なだけで、どれだけ大変かを知れた。
- ◎ 片まひ体験はやったことがなかった。すごく辛かった。体験だったから良いが、あれがずっと続くと考えたら、本当に大変だと思う。

なっかしの縁日 雨の区民まつり



平成29年10月28日(土) 第35回江東区民まつり中央まつりが開催されました。本来ならば、日曜日を含めた2日間での開催でしたが、台風接近による荒天のため土曜日のみの開催でした。

初日は東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた1000日前のイベントも行われ盛り上がりしました。射的には、雨天にも関わらず約500名の方々にご来場いただき楽しんでもらえました。



穏やかな 成人式 青少年委員大活躍!!

1月8日(月・祝) 曇天の中、ティアラこうとうにて「平成30年江東区成人式」が午前深川地区、午後城東地区の2部制で、盛大に開催されました。青少年委員会は、新成人の節目の日が思い出に残るものとなるよう、例年通りに会場内外、催事等々でのサポートを行いました。

式典では和太鼓演奏の華々しい演奏から始まり、光のファンタジーによる演出、区長の式辞、議長からの祝辞へと続き、新成人による決意表明、お楽しみ抽選会、出立の三本締めにて終了。各種催事スペースでは趣向を凝らし、新成人の新たな旅立ちへの機運を盛り上げ、終始和やかな笑顔溢れる1日となりました。



地区会
探検!!

第5回 砂町地区



砂町地区は各小学校からの代表12名と中学校長代表の伊藤先生を合わせて13名で活動しています。わいわい、ガヤガヤといつも明るく楽しい仲間それが砂町スタイル。“青少年委員の活動をとおして自ら行動しよう!”をモットーに、こどもたちの笑顔のためにこれからも一致団結頑張ります。

ブレインストーミングで 第12回 江東区立中学校生徒会長交流会 「東京パラリンピックを成功させるためにできることは何か」



平成30年1月27日(土)、深川第七中学校において、23校の生徒会長、生徒会役員を一堂に会し交流会が行われました。

開会後、全大会として深川第二中学校、第二砂町中学校生徒会の2校にグループ交流会(意見交換会)に向けての実践報告をしてもらいました。グループ交流会では4グループに分かれ、アドバイザーの先生も加わり、各校のPR、取り組みや課題を話し合いました。グループでの代表者発表は人前に出て自分たちの意見を聞いているひとに、わかりやすく言うことの難しさを体験し、そのことは大変貴重な経験になったことでしょう。

昼食後、パラリンピックの紹介映像を見て、「東京パラリンピックを成功させるためにできることは何か」をテーマに、青少年委員もグループに加わりブレインストーミングを行いました。まとめるのに大変なぐらいの自由闊達な意見が出され、グループ発表は個性あるものになりました。年に1度の交流会は各校の取り組みや実践の情報交換の場として有意義なものとなっていると実感しました。

ブレイン ストーミング

とは

テーマについて、少人数のグループで全員が批判せずに自由に意見やアイデアを出し合うことで、案をまとめたり、新しい発想を生み出したりする方法



感想

- ◎ パラリンピックのことはよく知らなかったので、よい機会だった
- ◎ もっともっと学校で取り上げていこうと思った
- ◎ ブレインストーミングがよくわからなかった

★委員 研修会 LGBTQってなんだろう？

平成29年11月9日(木)、江東区文化センターにおいて研修部主催の講演会が行われました。テーマ「LGBTってなんだろう？ 互いの違いを受け入れ合える社会を目指して」をNPO法人Rebit 三戸花菜子さん、ともさんに講演していただきました。

まずはLGBTの基礎知識、続いてLGBTについて皆で考える必要がある理由や困りごと事例、今日からできることについて、丁寧にお話いただき、当事者の話も聞くことができました。

すぐに理解できる人は少ないかもしれないが、皆がひとつの人権問題として捉えていくということを知る良い機会になりました。



セクシャリティ
(性のあり方)

からだの性

こころの性

好きになる性

表現の性

- レズビアン(女性同性愛者)
- ゲイ(男性同性愛者)
- バイセクシュアル
- トランスジェンダー(性同一性障害)

それぞれの頭文字を取ってLGBT、セクシャルマイノリティの総称



青少年委員大会 10年表彰&講演会

平成30年2月18日(日)、中央区銀座ブロッサム中央会館において平成29年度東京都青少年委員大会が行われました。今年度の10年表彰者は83名、江東区からは今野委員と桜田委員が表彰されました。

研修会では、人材コンサルタント 菅原裕子さんによる「子どもの心のコーチング」というテーマで講演いただきました。

親の役割は、マネージャー・スポンサー・そしてコーチであり、生きる力を引き出すために心を育てる。それには、6～7歳頃からは助けるのではなく、サポート(見守る)をしていくこと。こどもの自立には、①愛すること(母性・自己肯定感)②責任(父性・責任を学ばせる)③人の役に立つ喜び、この3つのサポートをする力が必要であるということを、細かな例を出しながらお話いただき、とても勉強になりました。

大会宣言の「地域に愛着を持ち、健全で豊かな心を持つこどもの育成をめざす」とともに、いろいろな面からサポートするよう、改めて心に刻んだひとときでした。



ジュニアリーダー講習会 ジュニアリーダー誕生!!



平成30年1月21日(日) 江東区青少年交流プラザレクホールにてジュニアリーダー講習会閉講式が行われました。

中級講習会認定43名、初級講習会(深川地区)25名、(城東地区)34名それぞれ代表者が、江東区少年団体連絡協議会 山村喜芳会長、江東区青少年委員会 大谷誠会長、江東区青少年課 小林愛課長より講習会認定証を授与されました。

初級認定者は5月より中級講習会に参加し、中級認定者は5月よりジュニアリーダーの一員になり、江東区のいろいろな行事に参加し、活躍してくれることでしょう。

宿泊研修会 in 湯河原

平成30年2月3・4日(土・日)に湯河原で宿泊研修会を行いました。

初日は、ちばり湯河原スイーツファクトリーや不動滝の見学、万葉公園の散策等を行った後、宿泊先で2年間を振り返る活動報告会を開催しました。

2日目は和菓子職人の指導のもとで和菓子作りの体験を行いました。全員が満面に笑みを浮かべながら、粘土遊びの感覚で楽しく作品作りに励んでいました。その後、湯河原の史跡めぐりを行った後、帰宅の途に就きました。楽しく充実した宿泊研修でした。



編集後記

受け継ぐということは、ただ守っているだけではない。その時代どきに合わせ研鑽し、一つ一つ積み重ねたものを、次の世代に継いでいく。皆さん今回の出来はいかがでしたか? 記者が一所懸命につくったものです。楽しくお読みいただけましたら幸いです。

(H・M)